

## 第8回 E S T 普及推進フォーラム実施概要

E S T (Environmentally Sustainable Transport: 環境的に持続可能な交通) の普及促進を図るため、E S T の取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第8回 E S T 普及推進フォーラム」を開催した。また、「第6回 E S T 交通環境大賞」の表彰を本フォーラムの中で行った。基調講演で2020年に向けた低炭素交通システムの考え方や実践方法について学び、受賞団体講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて2020年に向けたE S T のあり方について検討した。

当日は、E S T ・交通環境対策について関心を持つ方々を中心に146名が参加した。フォーラム、表彰式の告知が平成27年2月12日の日刊油業報知新聞や2月13日の交通新聞に記事として掲載されたほか、3月2日の交通毎日新聞、日刊自動車新聞、3月6日の交通新聞に当日の様子が記事として掲載された。

地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日時:平成27年2月26日(木) 14:00~17:40

会場:ルポール麹町「ロイヤルクリスタル」(東京都千代田区平河町2-4-3)

主催:E S T 普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、

公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、



開催風景

広報チラシ



「第8回 E S T 普及推進フォーラム」開催ご案内  
2020年に向けた低炭素交通システムを考える



【写真】 左上: 国鉄線 1000 系 東京地下鉄、右上: ツインライン(調次市)、左下: 交通環境大賞 2020 年受賞団体(左から右へ) ELEM0-AKITA (鉄道局)

E S T (Environmentally Sustainable Transport: 環境的に持続可能な交通) の普及促進を図るため、E S T の取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第8回 E S T 普及推進フォーラム」を開催します。

また、「第6回 E S T 交通環境大賞」<sup>®</sup>の表彰を本フォーラムの中で行います。基調講演で2020年に向けた低炭素交通システムの考え方や実践方法について学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて2020年に向けたE S T のあり方について検討します。

E S T ・交通環境対策の最新情報入手し、優良事例を共有した上で、現状の課題を検討する絶好の機会となりますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。

※ 地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日時:平成27年2月26日(木) 14:00~17:40 (13:30受付開始)

会場:ルポール麹町2階「ロイヤルクリスタル」  
千102-0093 千代田区平河町2-4-3

主催:E S T 普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、  
(予定) 公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会



環境的に持続可能な交通

Environmentally Sustainable Transport

## 開会挨拶・基調講演

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省、環境省からの開会挨拶のあと、基調講演が行われた。

### 開会挨拶

岩村 敬 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 会長  
奈良平 博史 国土交通省総合政策局 次長  
小野 洋 環境省水・大気環境局自動車環境対策課長



### 基調講演

「2020年に向けた低炭素交通システムを考える」

森本 章倫 早稲田大学理工学術院社会環境工学科 教授



## 表彰式・受賞団体講演

基調講演に続き、第6回 EST交通環境大賞の表彰式が行われ、国土交通省奈良平次長、環境省小野課長、EST普及推進委員会 太田委員長から各賞授与 及び、太田委員長から審査講評が行われた。その後、休憩の後、受賞団体から受賞団体講演が行われた。

### 表彰式

奈良平 博史 国土交通省総合政策局 次長

小野 洋 環境省水・大気環境局自動車環境対策課長

太田 勝敏 東京大学 名誉教授

【大賞 国土交通大臣賞】東京地下鉄株式会社

【大賞 環境大臣賞】藤沢市、いすゞ自動車株式会社、  
江ノ島電鉄株式会社、  
神奈川中央交通株式会社

【優 秀 賞】当別町

【奨 励 賞】株式会社みちのりホールディングス

【奨 励 賞】あきたEVバス実証コンソーシアム



### 受賞団体講演

「東京地下鉄株式会社の取組み」

奥 義光 東京地下鉄株式会社 代表取締役社長

「藤沢市の取組み」

香川 宗宣 藤沢市計画建築部都市計画課主査



## パネルディスカッション 「2020年に向けた低炭素交通システムを考える」

コーディネーター：太田 勝敏 東京大学名誉教授  
パネリスト：森本 章倫 早稲田大学理工学術院社会環境工学科教授  
館田 博道 当別町企画部長  
齋藤 昭則 秋田県産業技術センター技術顧問  
松本 順 株式会社 みちのりホールディングス代表取締役  
長谷 知治 国土交通省総合政策局環境政策課地球環境政策室長  
小野 洋 環境省水・大気環境局自動車環境対策課長

### 【概要】

2020年は、京都議定書の第二約束期間の最終年であり、京都議定書後の新たな法的枠組みの発効及び開始予定の年である。我が国における低炭素社会実現に向けた取組みを進める中で大きな節目となる年である。

また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けては、首都圏を中心に交通インフラに関わる整備が進められている。環状道路や鉄道新線・新駅、BRT、コミュニティサイクルなど環境配慮に寄与するプロジェクトが多岐に渡り検討・推進されようとしている。

地方に目を向けると、人口減少・超高齢化という我が国が直面する大きな課題への対応が求められるなか、「地方創生」が政府の重要テーマとして掲げられている。地方創生の長期ビジョンの目標年次は2020年に設定されており、運輸部門としても、魅力ある地方の創生を支える低炭素型交通システムの確立など早急に検討を進めていく必要があると考えられる。

そのため、このパネルディスカッションでは、前半に、優秀賞・奨励賞受賞団体の取組み内容をご発表いただき、基調講演、大臣賞受賞団体講演の内容も参考にしながら、2020年の低炭素交通システムに向けた取組みの現状や課題を確認した。後半は、抽出された課題を踏まえ、2020年に向けた低炭素交通システムのあり方や方向性について検討した。

